

縣報

第四號

明治三十三年五月十四日 和歌山縣

○縣令

○和歌山縣令第三十七號

明治二十八年十月縣令第四十四號土木規則中左ノ通改正ス

明治三十三年五月二日

和歌山縣知事

小倉久

第五條第二項第三項ヲ左ノ通改ム

關係市町村長ニ於テ工事ノ必要ヲ認ムルトキハ其ノ都度簡所書(別紙書式)ヲ作り市ハ第一土

木工區區長所町村長ハ郡役所及管工區出張所ヲ經テ本廳ニ報告スヘシ

關係市町村長ニ於テ天災其ノ他ノ事故ニ依リ工事ノ急施ヲ要スト認ムルトキハ其旨速ニ

本廳ニ申報スヘシ

但本文ノ場合ハ當該土木工區出張所へ全時急報スヘシ

第六條ヲ削除シ第七條以下順次繰上シ

○和歌山縣令第三十八號

炭疽熱發生ニ付左記ノ區域ヲ豫防線トシ牛馬羊豚ノ出入往來ヲ停止ス

本令ハ發布ノ日ヨリ施行ス

明治三十三年五月二日

和歌山縣知事

小倉久

縣報第四號

明治三十三年五月十四日

一 東牟婁郡下大田村大字市屋
但シ新熊野街道筋ヲ除ク

一圓

○ 告 示

○ 和歌山縣告示第百九號

神戸市楠町貳丁目拾八番地ノ五

土族 田 淵 益 藏

右ノ者兵庫縣下移民取扱人神戸渡航台資會社業務代理人ニ認可ヲ受タル旨同縣知事ヨリ通知アリタリ

明治三十三年五月三日

和歌山縣知事 小 倉 久

○ 和歌山縣告示第百十號

左記ノ者本日頭記ノ番號ヲ以テ和歌山縣產婆名簿ニ登録ス

明治三十三年五月四日

和歌山縣知事 小 倉 久

日高郡中山路村大字安井八十七番地和歌山縣平民

第三百七十四號

假 屋 き よ

天保十一年三月十五日生

○ 和歌山縣告示第百十一號

兵庫縣下出石郡資母村ノ内西野々村ニ於テ客月廿五日同郡合橋村ノ内唐川村ニ於テ全廿六

日各牝牛一頭炭痕熱ニ罹リ斃死セシ旨全縣ヨリ通印アリタリ

明治三十三年五月八日

和歌山縣知事

小倉

久

○和歌山縣告示第百十二號

佐賀縣ヨリ漁業取締規則左之通發布シタル旨通知アリタリ

明治三十三年五月九日

和歌山縣知事

小倉

久

佐賀縣令第百三十二號

漁業取締規則農商務大臣ノ認可ヲ經テ左ノ通相定ム

明治三十三年四月二十五日

佐賀縣知事

關

清

英

佐賀縣漁業取締規則

第一章

總則

第一條 本則ニ於テ漁業ト稱スルハ水産ノ動植物ヲ採捕スル營業ヲ總稱ス

第二條 漁業場採獲場ノ區域又ハ其入會專用及漁業ノ方法ハ特ニ規定アルモノ、外渾テ從

來ノ慣行ニ依ルベシ

第三條 區劃ヲ定メ漁業場採獲場ヲ使用セント欲スルモノハ別ニ定メタル規則ニ從ヒ知事

ノ許可ヲ受クヘシ

第四條 漁業者ハ其地漁業組合規約ニ遵ハサレハ漁業ヲ爲スコトヲ得ス

漁業組合ノ地區内ニ居住セサル漁業者及遊漁者ハ其地漁業組合規約中縣知事ニ於テ告示

シタル漁具漁法及漁期ニ關スル制限禁止ノ事項ヲ遵守スヘシ

第五條 水産動物ノ蕃殖又ハ公益ニ害アリト認ムルトキハ營業ヲ制限シ又ハ之ヲ停止シ若クハ許可ヲ取消スコトアルヘシ

第二章

禁漁法及禁漁季節

第六條 爆發物、毒性ノ物質(石炭油、萍、草、葉、莖、山椒ノ實皮其他各種ノ藥品等)及潜水器ヲ用ヒテ漁業ヲ爲スコトヲ禁ス但潜水器ニアリテハ特ニ使用ノ許可ヲ受ケタルモノハ此限ニアラス

第七條 蛭貝ハ毎年十月一日ヨリ翌年三月三十一日マテ採捕ヲ禁ス但其年生育ノモノハ翌年八月三十一日マテ採捕ヲ禁ス

第八條 牡蠣ハ毎年三月十五日ヨリ六月三十日マテ採捕ヲ禁ス

第九條 タイラキ貝、ミロシ貝、灰貝、イタヤ貝、鳥貝ハ毎年五月一日ヨリ九月三十日マテ採捕ヲ禁ス

第十條 海月ハ毎年一月一日ヨリ五月三十一日マテ採捕ヲ禁ス

第十一條 左ノ諸川ニ於テハ毎年三月一日ヨリ五月三十一日マテ鮎漁及鵜遣ヲ爲スコトヲ禁ス

佐賀郡 嘉瀬川

小城郡 多久川

東松浦郡 松浦川 玉嶋川

西松浦郡 有田川

神崎郡 城原川 田手川

藤津郡

鹽田川

中川

石木津川

檜川

多良川

糸岐川

第三章

漁業組合

第十二條 漁業者ハ左ノ區域ニ依リ組合ヲ設ケ規約ヲ定メ知事ノ認可ヲ受ヘクシ

一有明海沿岸

一松浦潟沿岸

第十三條 漁業組合ハ水産動植物ノ蕃殖保護及漁業ノ發達ヲ圖リ兼テ漁業及漁業者營業上

ノ取締ヲ爲シ同業一般ノ利益ヲ増進スルヲ以テ目的トスヘシ

第十四條 組合ノ規約ニハ左ノ事項ヲ掲クヘシ

一組合ノ名稱及事務所ノ位置

二組合ノ地域及組織

三加入者及脱退者ニ關スル規程

四役員ノ撰舉任期權限並報酬給料旅費ニ關スル規程

五會議ニ關スル規程

六費用ノ賦課徵收及支出ニ關スル規程

七水産ノ蕃殖及保護ノ方法並水産統計ニ關スル事

八禁漁季節及漁具漁法ノ制限

九漁場區域

十組合員遭難ノ救済ニ關スル規程

十一連約者處分ニ關スル規程

十二前各項ノ外組合ニ於テ必要ト認ムル事項

第十五條 組合ハ組合ノ名義ヲ以テ營利事業ヲ營ムコトヲ得ス

第十六條 組合ハ事務所ヲ設置スヘシ但シ事務ノ都合ニ依リ便宜ノ地ニ出張所ヲ設クルコトヲ得

トヲ得

第十七條 組合ニハ左ノ役員及事務員ヲ置クヘシ但事務ノ都合ニ依リ組合副長ヲ置カサルコトヲ得

コトヲ得

一 組合長

壹名

二 組合副長

壹名

三 書記

若干名

四 巡察

若干名

五 總代

若干名

第十八條 組合長ハ組合事務ヲ統轄シ且官廳及外部ニ對シ組合ヲ代表ス

第十九條 組合副長ハ組合長ヲ補佐シ不在ノトキハ其事務ヲ代理ス

第二十條 書記ハ組合長組合副長ノ指揮ニ從ヒ會計記錄ニ從事ス

第二十一條 巡察ハ漁場ヲ巡回シテ取締ニ從事スヘシ

第二十二條 總代ハ組合會議員トナリ兼テ經費ノ徵收ニ從事スヘシ

第二十三條

組合長組合副長ハ組合會ニ於テ選舉シ知事ノ認可ヲ受クヘシ
知事ハ組合長及組合副長ヲ不適任ト認ムルトキハ認可ヲ與ヘス又ハ任期中ト雖トモ改選
ヲ命スルコトアルヘシ

第二十四條

書記巡察ハ組合長之ヲ選任シ組合會ノ承認ヲ受クヘシ

第二十五條

惣代ハ各町村ノ區域ニ依リ其區内組合員ニ於テ選舉スヘシ

第二十六條

組合ハ役員ノ就任退任ノ都度其住所氏名ヲ知事ニ届出ツヘシ但認可ヲ受クヘ
キモノハ此限ニアラス

第二十七條

左ノ一項ニ該當スルモノハ組合ノ役員トナルコトヲ得ス
一 未成年者準禁治産者

二 禁治産者

三 身代限りノ處分ヲ受ケ辨濟ノ義務ヲ了ヘサル者及復權セサル破産者、家資分散者

四 重禁錮以上ノ刑ニ處セラレ滿期後又ハ赦免後三ケ年ヲ經ザルモノ

五 公權ヲ剝奪セラレ若クハ停止中ノモノ

六 水産取締規則若クハ組合規約ニ違背シ其處分ヲ受ケ一ケ年ヲ經サルモノ

七 地區内ニ於テ漁業ニ従事シ一ケ年ヲ經サル者

第二十八條

組合會ヲ開クトキハ開會七日前縣廳ニ届出ツヘシ

第二十九條

組合ノ費用ハ組合員ノ負擔トス

第三十條

組合費用ノ收支豫算ハ組合會ノ決議ヲ經當該年度(年度トハ歷年度ヲ云フ以下皆全シ)三十日前

知事ノ認可ヲ受クヘシ

第三十一條 組合費用ノ收支決算ハ年度後三ヶ月以内ニ組合會ノ認定ニ付シタル上知事ニ報告スヘシ

第三十二條 知事又ハ郡長ハ吏員ヲ派遣シ組合事務ノ舉否費用收支ノ當否其他事業ノ施行若クハ成績等ヲ視察又ハ監督セシムル事アルヘシ此場合ニ於テ組合ハ書類帳簿ノ點檢及實地ノ監査ヲ拒ムコトヲ得ス

第三十三條 組合ハ規約違反者ヲ處分シタルトキハ其住所氏名事由ヲ記シ知事ニ報告スヘシ

第三十四條 組合ノ規約ヲ加除訂正セントスルトキハ知事ノ認可ヲ受クヘシ

第四章 罰則

第三十五條 本則第三條第四條第六條第七條第八條第九條第十條第十一條ニ違背シタルモノハ貳圓以上拾圓以下ノ罰金ニ處ス

附則

第三十六條 此規則ハ明治三十三年五月一日ヨリ施行ス

第三十七條 此規則ハ捕鯨業及千歲川流域ニハ之ヲ適用セス

第三十八條 明治十九年五月佐賀縣甲第四十號布達同二十年十月佐賀縣令甲第七十一號同二十

十一年二月佐賀縣令甲第十號同二十八年十月佐賀縣令第五十三號同十七年四月佐賀縣甲第三十

二號布達同二十七年十一月佐賀縣令第八十一號同三十年七月佐賀縣令第四十三號同二十六年

大月佐賀縣令第三十四號及此規則ニ抵觸スル令達ハ總テ廢止ス

○和歌山縣告示第百十三號

左記ノ道路自今公用ヲ廢止ス

明治三十三年五月十一日

和歌山縣知事

小倉

久

東牟婁郡高池村大字高池字江崎四十一番ヨリ字宮ノ上三百三十八番ニ至ル
一道路數三百六拾三坪

○和歌山縣告示第百十四號

左記ノ道路自今公用ヲ廢止ス

明治三十三年五月十一日

和歌山縣知事

小倉

久

和歌山市三番丁五番地第二

一道路數百五十九坪五合

全上

第四

一全 百拾六坪三合八夕

全上

三番地

一全 百六坪六合

○訓令

○和歌山縣訓令甲第五十一號

郡役所

市役所

町村役場

明治二十五年四月訓令第八十七號中左ノ通改正ス
明治三十三年五月二日

和歌山縣知事 小倉久

訓令第八十七號第三項ノ冒頭「府縣稅徵收法及同細則」ノ十字ヲ「明治三十三年三月勅令第八十一號府縣稅徵收ニ關スル件及和歌山縣稅徵收細則」ノ三十五字ニ改ム
第五號書式中「出納吏ニ送納」ノ六字ヲ「縣金庫へ拂込」ノ六字ニ改ム

○和歌山縣訓令甲第五十二號

內務部

和歌山縣第一中學校

和歌山縣第二中學校德義分校

和歌山縣金庫

和歌山縣第一中學校德義分校會計規程左ノ通相定ム

和歌山縣知事 小倉久

明治三十三年五月五日

和歌山縣第一中學校德義分校會計規程

第一章 總則

第一條 和歌山縣第一中學校德義分校(次條以下ニハ單ニ)ノ經濟ハ特別會計トス

第二條 德義分校ノ歲入ハ該校ノ雜收入及寄附金トシ此歲入ヲ以テ一ケ年ノ歲出ニ充ツル

モノトス

歳入ニ剩餘アルトキハ之ヲ翌年度ニ繰越スモノトス

第三條 德義分校ノ雜收入及寄附金徴收及經費ノ仕拂ハ該校首席教諭ニ委任ス

第四條 德義分校ノ會計ハ此規程及和歌山縣會計事務規程ニ依リ處理スルモノトス

第二章 收入

第五條 德義分校ノ雜收入及寄附金ハ該校首席教諭ニ於テ其豫算ニ基キ收入額ヲ測定シ收

入期日十五日前納入ニ對シ書式第一號ノ納入告知書ヲ發スヘシ其ノ收入ノ報告ハ縣會計事務規程第十四條ニ據ルヘシ

第六條 德義分校首席教諭ハ左ノ事項ヲ一ヶ月毎ニ集計シ翌月七日以内知事ニ報告スヘシ

一 歳入ノ測定及其ノ減額

一 歳入ノ收入額

本條ノ報告書式及歳入ニ關スル帳簿ノ様式ハ縣會計事務規程附屬ノ書式ニ依ルヘシ

第三章 支出

第七條 德義分校ハ毎月ノ仕拂ハ其ノ歳出豫算ノ範圍内ニ於テ第五條ノ收入ヲ以テ之ニ充ツヘシ

第八條 仕拂ヲ執行スルトキハ書式第二號ノ仕拂命令ヲ發スヘシ其ノ手續ハ和歌山縣會計

事務規程第十九條第二十條ニ據ルヘシ

前項ノ仕拂ハ第五條ノ收入金額ヲ超過スルコトヲ得ス

第九條 和歌山市ノ外ニ住居スル受取人ヘ仕拂ヲ要スルトキハ仕拂命令ノ表面欄外ヘ送金

ノ印ヲ捺シ之ヲ和歌山縣本金庫ニ交付シ爲替券ヲ受クヘシ但シ本金庫ニ於テハ縣金庫事務規程第二十條ニ據リ處理スルモノトス

第十條 仕拂上ノ整理及仕拂證明ハ縣會計事務規程第二十六條乃至第三十六條第五十四條乃至第六十三條ニ據ルヘシ

第十一條 科目ノ流用ハ縣會計事務規程第六十五條決算ハ同規程第六十八條第二項第六十九條第七十條ヲ準用ス

第十二條 物品ノ整理帳簿ノ設備及會計ノ檢查ハ縣會計事務規程第七十二條乃至第七十三條ヲ準用ス

第十三條 毎年度決算ノ結果剩餘金アルトキハ該金額ヲ知事ニ報告スヘシ
前項ノ剩餘金ハ之ヲ翌年度ニ繰越スモノトス

第十四條 德義分校ノ經費ニ屬スル毎月末日和歌山縣本金庫ノ保管現在高ヲ取調縣會計事務規程附屬書式第七十五號ニ依リ翌月一日發送知事ニ報告スヘシ

第十五條 和歌山縣本金庫ニ於テハ此規程ニ掲ケタルモノ、外集合仕拂、通知拂、振替拂ノ手續ヲ除キ其他ノ取扱ハ縣金庫事務規程ヲ準用ス

附則

第十六條 此規程ハ明治三十三年度ヨリ施行ス

書式第壹號ノ甲

用紙適宜 縱五寸ノモノ二枚 縱五寸ノモノ一枚 接續
横四寸 横三寸

領 書 知 告 入 納

第 何 號 明治何年度	何 郡 市 何 町 村	何 某 納 雜 收 入 何々 收入又ハ何々料
第 何 號 明治何年度	何 郡 市 何 町 村	何 某 納 雜 收 入 何々 收入又ハ何々料

一金何程

但(其收入金ノ目的ヲ記入スヘシ)

右何年何月何日限和歌山縣本金庫へ拂込ムヘシ

第一中學校
德義分校首席教諭氏名印

明治何年何月何日

縣金庫
割印

收 證 別 符

一金何程

縣金庫
證印

但(前ト同一ノ記入ヲナスヘシ)

右領收候也

明治何年何月何日

和歌山縣本金庫印

縣金庫
割印

第何號

何郡市何町村

何某納

明治何年度 雜收 入何々 收入又ハ何々料

一金何程

縣金庫
證印

但(前ト同一ノ記入ヲナスヘシ)

明治何年何月何日

和歌山縣本金庫拂込

書式第壹號ノ乙

用紙適宜 縦五寸ノモノ二枚 縦五寸ノモノ一枚 接續
横四寸 横三寸

第 何 號

何 郡 市 何 町 村

何 某 納

明 治 何 年 度

寄

附

金

校

費

寄

附

金

一 金 何 程

但何年何月何日寄附許可之分

右何年何月何日限和歌山縣本金庫へ拂込へシ

明 治 何 年 何 月 何 日

第 一 中 學 校

德義分校首席教諭 氏名印



納 入 告 知 書

領

第何號	何郡市何町村	何某納
明治何年度	寄附金	校費寄附金

收

一金何程

縣金庫
証印

證

但何年何月何日寄附許可之分

右領收候也

明治何年何月何日

和歌山縣本金庫印

別

第何號	何郡市何町村	何某納
明治何年度	寄附金	校費寄附金

一金何程

縣金庫
証印



符

但何年何月何日寄附許可之分

明治何年何月何日

和歌山縣本金庫抽込

書式第二號

(用紙西洋紙縱三寸六分)

原符 三寸
切符 四寸五分
案内 三寸五分
ノモノ三枚接續

原

明治何年
何月何日

第何號

何年度出

和歌山縣第一中學移
德義分校費

俸給

取扱主任印以下同シ

符

一金何圓何拾錢也○

調査ノ印以下同シ

和歌山縣本金庫

何某渡

首席

(備考)
一命令ニ
記入スヘ
キ年月日
ハ之ヲ調
製セタル
年月日ト
ス
一案内仕
拂命令ヲ
縣金庫ニ
送付スル
トキハ該
命令面ニ
式ノ如ク
其年月日
ヲ記入ス
ルモノト

明治三十三年五月十四日

仕 拂 命 令

案

第 何 號 何 年 度 歲 出

教 諭 割 印

和歌山縣第一中學校 俸給 德義分校費

一金何圓何拾錢也○

圓、○○○

右金額此命令發行ノ日ヨリ三十日間ヲ限リ現金交換セラルヘシ

何 某 渡

年 月 日

第一中學校

德義分校首席教諭氏名印

和歌山縣本金庫

首 席

教 諭

割 印

第 何 號 何 年 度 歲 出

和歌山縣第一中學校 俸給 德義分校費

內 仕 働 命 令

一 金何圓何拾錢也○

何 某 渡

年 月 日

第一中學校

德義分校首席教諭氏名印

和歌山縣本金庫

明治 年 月 日 送付

正 誤

明治三十年十二月本縣告示第二百四號中七枚表十行目反別ノ欄(三、三四〇〇)トアルハ(〇、三四〇〇)ノ誤
明治三十三年五月四日
和 歌 山 縣

明治三十三年五月十三日印刷
明治三十三年五月十四日發行

和歌山縣

印刷人
印刷所

和歌山市九番丁九番地
和歌山市十二番丁十三番地
和歌山印刷株式會社